



平塚ロータリークラブ 週報

Hiratsuka R.C. Weekly

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：柏手 茂 副会長：白石 慎太郎 幹事：米山 俊二 クラブ会報委員長：平井 敬規

例会日 毎週木曜日 12:15~13:30
会場 グランドホテル神奈中 2F
事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内
連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2021年 8月26日 第 3325 回 週報第 3325 号

本日 8月26日	会員数 61名	対象者 61名	出席者 37(37)名	出席率 60.66%			
前々回 7月15日	会員数 60名	対象者 60名	出席者 46(46)名	出席率 76.67%	MUP 0名	計 46名	修正率 76.67%

本日の卓話者ご紹介

北京オリンピック男子4 x 100mリレー 銀メダリスト 末續慎吾様



卓話

「日本のスポーツ」

北京オリンピック男子4 x 100mリレー 銀メダリスト 末續慎吾

出身は熊本、東海大学への進学をきっかけに平塚に移ってきました。それ以来なぜか自分の人生の転機には、必ず戻ってくる縁のある場所がこの平塚です。今日もこのような機会をいただけ感謝しています。今日は『日本のスポーツ』をテーマにお話しをさせていただきます。自分が陸上競技を始めたのは中学校の時ですが、「かけっこ」と呼ぶならば小学校の頃から、自身の才能をいかんなく発揮して走ってきました。今ではその“かけっこ”をスポーツとして表現し、稼業として、技として生きています。

これまでオリンピックに3回の出場経験があり、1度目は20歳の時にシドニー、2度目は24歳の時にアテネ、3度目は28歳の時に北京オリンピックです。世界中を巻き込む文化的イベントであるオリンピックでの体験を通じて感じたのは、グローバルな中でのローカルリズムや、勝ち負けだけではない多面的な価値観です。

短距離走は個人競技ですが、唯一リレーはチームプレ

イとして技術が介入する競技です。つまりそれぞれの国の国民性が影響する競技と言えます。北京五輪の日本リレーチームがなぜ銀メダルを取ったのか、それは「相手の気持ちを汲み取る力」が他国よりも強かったからです。言い換えると「空気を読む力」や「感受性」「モノ言わぬモノを形にする力」に長けているといえ、それが日本の強さなのです。アメリカなどの法の力の強い国では、モラルティよりも法が優先される国民性なので、バトンリレーを失敗することが良くあります。スムーズなバトンリレーには空気を読む力が必要なのです。

今回の東京オリンピックでは日本チームはバトンリレーに失敗してしまいましたが、本来の日本チームの強みであった目には見えない感覚や精神性ではなく、科学的なエビデンスに頼りすぎてしまった為に、現場で上手く合わせる事が出来なかったのではないかと推察しています。日本のスポーツの根底には「根性」や「気合」、「忍耐」や「我慢」などの精神的な強さがあります。技術も確かに大切ですが、精神面も両輪として必要だと考えています。

僕は41歳ですが現役を続け、先日も40代の日本記録を出しました。もっと言えば3年後のパリで開催されるオリンピックを目指していて、不可能ではないと思っています。何故なら自分はこれまでの人生の中で、誰もやれたことのない事、日本人には無理と言われてきた事を成し遂げてきました。'03年の世界陸上パリの200mで銅メダルを取った時もそうでした。自身44歳になるパリオリンピックでまたその同じ舞台に戻り、世界と“かけっこ”をしたいと思っています。

なぜこの年齢になっても現役を続けられているのか？20代で前人未達の記録を出した自分ですえ、30代で競技を続けようとする子供じみてると笑われ、価値がないとも言われ、苦い思いをしてきました。それでも10年以上かけてやってきて風化しなかった思いは、技術や体力的なことではなく、精神的なものの強さの大切さを知ることが出来たからです。そしてこのように皆様の前に立つ仕事が出来ています。

これまで日本スポーツ界を代表して生きて来た人間として、日本のスポーツマンシップは世界トップであると確信しています。ドーピングなどの問題もほぼ無く、最もクリーンな国で、その日本の精神性は世界で大きな評

価を得ています。

オリンピックでメダルを獲る意味や価値を知る選手はまずは日本一になり、そして世界を渡り歩く力を身に付けている訳で、その力を他の業界へ転換できれば、どんな業界でも力を発揮することが出来るはず。しかし多くのアスリートがそれを出来ていないのは、他の業界の人たちとの関わりや交流が少ないからです。今回いただいたような機会も重要で、まずは会って話す。そして末續という人間がどんな人間か見てもらい知ってもえればと思います。

現在、平塚でイーグルランというコミュニティを作り始めました。それはお爺ちゃんと孫の3世代が一緒になって走れるコミュニティで、他には無いので子供と関わりを持ちたい人たちが集まってきます。ここでは「走る」は手段であり、世代を越えて一緒に走り、語り合う機会を生み出して、社会貢献になりながらビジネスにもなっています。この機会に皆さんに興味を持っていただけたら嬉しく思います。

同じ平塚に住み、40を過ぎてもなおオリンピックを目指している、年甲斐もない自分をぜひ応援して下さい。街で会ったら声を掛けていただき、また飲み屋で会った時には一杯奢って下さい(笑) 本日はありがとうございました。



北京五輪銀メダルを獲得した日本代表チーム



卓話者ご紹介

末續慎吾 (すえつぐ しんご) 様

1980年6月2日生まれ、熊本県出身
 東海大学、東海大学大学院修士課程修了
 2003年3月、日本選手権で200mの日本新記録を樹立(20秒03=現日本記録)
 2003年8月、フランス・パリで開催の世界陸上の200mで日本人初の銅メダルを獲得。
 2008年北京五輪で4×100mリレーで日本史上初の五輪銀メダルを獲得。
 五輪、世界選手権を通じて短距離種目で日本人初のメダリストとなる。
 2018年自身のチーム「EAGLERUN」を立ち上げ、現在EAGLERUN所属。
 現役選手として大好きな「KAKEKKO(かけっこ)」=「走り」の無限の可能性の探究を続けながら、生涯スポーツの可能性の拡大とスポーツの本質の豊かさ・楽しさを世の中に普及する活動に尽力している。

幹事報告

◎ご報告が遅くなりましたが、7月1日に牧野國雄会員が大怪我をされ、入院されました。

手術は無事に終わり、現在はリハビリ専門病院でリハビリ中です。コロナ禍ですので、直接のお見舞いには行けないので、先週の金曜日にクラブを代表して、会長がご自宅へクラブよりのお見舞金をお渡しに行かれました。回復までにはまだしばらく時間がかかるかと思いますが、一日も早く元気になってクラブへ戻れることを願います。

◎地区の2021-22年度の便覧が届いております。

地区委員のみなさにはお知らせしてありますが、事務局にお寄りできる方は事務局まで受け取りにいらしていただき、郵送をご希望の方は事務局までお知らせください。

◎緊急事態宣言が9月12日まで延長されましたことにより、9/2と9/9の例会はZoomを使ったリモート例会になります。

来週、理事・役員会を開催いたしますので、今後の例会の開催方法等を決めて皆様にご報告いたします。

委員会報告

◎プログラム委員会 相山洋明委員長

9月の卓話の予定は、9/2は大島会員に入会記念卓話をお願いしています。翌週9/9は平塚で有機野菜を栽培、販売して、サステナブルな環境に配慮した取り組みをされている農業生産法人の「いかす」代表の白土様をお願いしております。

今週のお祝い

誕生日祝い・・・青山紀美代会員、鈴木成一会員
 結婚祝い・・・無し

メイクアップ (MUP) 0名

本日のスマイル 1名

ゲスト 2名

北京オリンピック男子4×100mリレー銀メダリスト
 末續慎吾 様
 末續様マネージャー 大沼寧子(おおぬま やすこ) 様

ビジター 0名

卓話・行事予定

9月2日(木) Zoom 例会 入会記念卓話 大島圭吾会員
 9月16日(木) Zoom 例会 (株)いかす 代表 白土卓志様

市内例会変更

緊急事態宣言発令中により、8月中は全クラブ休会中

